

## 令和5年度 第72回高等学校PTA連合会大会 2023 宮城大会 報告

○日 時 令和5年8月24日（木）13:00～17:00、25日（金）9:00～12:30

○会 場 仙台市体育館（カメイアリーナ仙台）

○テーマ 豊かな杜につむぐ虹の光 ～しなやかな強さで生き抜く力～

○参加者 松島PTA 副会長、校長



○日 程

(1) 大会1日目（8月24日）

13:00～13:20 アトラクション（宮城県内高校生による合同合唱）

13:30～13:50 開会行事

14:00～16:30 各分科会（基調講演、パネルディスカッション）

※大会初日は、飛行機欠航の影響で仙台到着が夕刻になったため  
分科会に参加できず

(2) 大会2日目（8月25日）

9:00～ 9:20 アトラクション（プロジェクションマッピング）

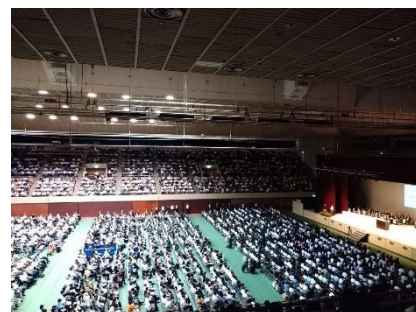
9:30～10:30 開会式、表彰式

10:40～11:50 記念講演

講師：須江 航 氏（仙台育英学園高等学校硬式野球部監督）

演題：「伝わる言葉・失敗から学ぶ ～しなやかな強さで生き抜く力～」

12:00～12:30 閉会式



○記念講演について（写真撮影はNGでした）

- ・座右の銘（信念）…賛同の多いことは時代遅れ、挑戦し行動する姿を生徒に見せたい、  
人生は敗者復活戦
- ・野球部の活動理念…地域の皆様と感動をわかち合う  
スローガン 2022：全ては自分次第 2023：あとはやるだけ
- ・自分の価値観と異なることを認める多様性、柔軟性を
- ・何事に対しても肯定的に、大切なのは挫折との向き合い方、失敗を許容し挑戦すること
- ・人生を1度変える（いきなり90度も180度も変えることができない）
- ・プロとは、求められていること以上のことを安定して提供できる人
- ・部活動を通して非認知能力（自尊感情、自己理解、意欲、粘り強さ、素直さ、…）を育てる
- ・今どきの高校生は、怒られ・叱られ耐性がない。怒るのも叱るのも受け取る側がネガティブになり自己肯定感を下げることになるのは同じこと。伝わる言葉とは相手が聞きたいこと。丁寧に説明し伝えることが大切。

○個人的に東日本大震災の震災遺構として保存されている仙台市立荒浜小学校を見学してきました。

震災当時は、児童、教職員、地域住民ら約 300 人が避難し、2階まで津波が押し寄せました。



津波の力で変形した鉄の扉



1階の1年生教室



保健室



荒浜地区には約 800 世帯、約 2,000 人の住民が暮らしていましたが、津波により住宅は押し流され、基礎部分のみが残されており、保存公開されています。

右の写真は荒浜小学校の屋上から見た荒浜地区の現在の様子。

